

会報

2026 年 秋号

花のチカラ 緑のココロ

協会は今年で設立 25 年を迎えました

日本園芸福祉普及協会は、2001 年 4 月に東京池袋の東京芸術劇場で設立総会を開催し、任意団体として誕生しました。花や緑との触れ合いは、人間に良い効果をもたらしてくれると感じている人が多いのに、唱える組織が必要と考える人が集まったのです。提唱者の近藤龍良さんらは、“園芸福祉”という四文字熟語を創り、日本園芸福祉協会の結集を目指していました。組織の代表には、かねてから緑と人や社会とのつながりの重要性を唱えられていた東京農業大学学長（当時）の進士五十八先生にお願いしましたが、先生から「園芸福祉は、花みどりとふれあい、皆で幸せになろうという思想であり、技術、運動、実践であるから、組織の名称に普及を入れるべきだ」と提案をいただき現在の組織名で設立しました。翌年の 4 月には、東京都から NPO 法人（特定非営利活動法人）の認可をいただきました。設立からの 25 年間を振り返ると、この活動を普及・推進するためには仲間が必要と始めた人材育成は、各地で開催した養成講座や学校での授業等で園芸福祉を学んだ人が約 1 万人となり、現在 47 都道府県全部で約 1,600 名が会員として活動されています。そして、協会が唱えてきた「ウェルビーイング」や「全ての人を認めて築く社会」等々が、社会の中で普通に使われる世になりました。

これまでの地域活動の歩み



このようなことから、25 年間を踏まえ、新しい需要の芽を探り、園芸福祉活動の将来展望と協会の立ち位置を考えるシンポジウムを 2 回開催いたします。第 1 回目は、本会報記載の通り本年 11 月 7 日（土）午後には東京世田谷区で「協会設立 25 周年記念シンポジウム」、2 回目は、年明け後にご案内しますが、来年 6 月 11 日（金）夕方に 2027 横浜花博会場内催事場で開催します。ご予約を繰り合わせ、ご参加賜りませば幸いです。

文末になりましたが、本年 6 月 20 日に令和 8 年通常総会を東京中央区の銀座プロッサムで開催し、議案通りご承認いただきましたこと報告いたします。

（事務局長 粕谷芳則）

初級園芸福祉士の自己紹介

／本年度は、新たに約 120 名の方々が登録されました。その中から一部をご紹介します。／



病気になったのをきっかけに、ベランダの小さな植物のお手入れから体力回復につめてまいりました。その時に緑と花のいやす力を心から体感実感し、改めていやしの力や人と人をつなぐ力にフォーカスした学びにふれたいと思い探したところ、皆様の活動を発見し私もこの活動に微力ながら参加し地域に小さな喜びを循環していけるように成長したいと思い資格取得に取り組みました。勉強するにもとても学ぶ喜びがありました。このようなテキストや運営などのサポートをいただき本当にありがとうございます。

(東京都／50代／女)

横浜市栄区で園芸店を営みながら、老人ホームの植栽管理や園芸イベントの企画・実施を行っています。また幼稚園やフリースクールの植栽や維持管理にも携わっています。植物を通して、地域の世代を超えた交流を育み、日常的な見守りや支え合いにつながる関係性を大切にしています。今後は初級園芸福祉士として、経験を重ねながら、より地域に根ざした園芸福祉の実践を広げていきたいです。

(神奈川県／50代／女)

看護師をしています。出身地である宮崎県に戻り、デイサービスを開業する予定です。そこで利用者さん達と園芸を楽しみたいという思いで今回の資格取得に至りました。自分も園芸福祉を通して社会貢献できればと思っています。

(東京都／40代／女)

現在、大学4年生です。私自身花が好きで、植物が人を癒す力を常々感じていました。大学で社会福祉を学ぶ中で、園芸福祉というものがあることを知り、その活動や思想に深く感銘を受け、資格取得を目指しました。ご縁があり、地域の市民参加型の花公園でのイベント運営・デイサービス利用者の方の植付作業のお手伝い、SNS発信などに携わらせていただいています。活動の実践はまだまだ難しいかもしれませんが、できることから始めて、園芸福祉の輪を広げていけたらと思います。

(大分県／20代／女)

地域の花ボランティア活動に参加したり、手話サークルに通って、色々な方々との交流を楽しんでいます。ベランダで園芸を楽しんでいますが、枯らしてしまうことも・・・友達と植物談義をするのも楽しみの1つです。

(広島県／60代／女)

私は、園芸福祉班に所属していました。園芸福祉班では、学校近辺の保育施設や介護施設との園芸交流を通じて、花が人にあたえる影響についてや地域・世代間交流の大切さを学びました。今後は、この経験を活かして地域に積極的にいかかわっていくとともに、園芸についての知識をしっかりと身につけていきたいと思っています。

(北海道／10代／女)

私はこの園芸福祉士という資格を活かし、地元である秋田県北秋田市の緑化活動に尽力したいと考えています。出身高校では、地域に花を植える活動をしていました。その活動の延長で、後輩である高校生と協力して園芸福祉士として地域に花を増やす運動をしたいと思っています。

(新潟県／10代／女)

私の叔父が NPO 法人を立ち上げ活動しており園芸福祉分野に興味を持ち資格取得に挑戦しました。将来は家業である造園業を継いで働いていこうと考えています。園芸福祉分野の内容と造園を組み合わせると誰もが楽しめる空間を作る活動をしていきたいと思っています。

(岐阜県／10代／男)

現在高校に通っています。もともと植物が好きで、園芸を通して人の心を癒す活動に魅力を感じ、この資格を目指しました。学習を通して、植物には人の気持ちを落ち着かせたり、前向きな気持ちにさせる力がある事を知り、より興味が深まりました。また、園芸を通じて人と関わることの大切さも学ぶことができました。今後はこれらの知識や経験を活かし、身近な人や地域の方々に癒しや楽しさを届けられるよう努めていきたいと考えています。

(三重県／10代／女)

私は幼い頃から園芸に触れ、植物の大切さや色や香りなどを楽しんだり、リフレッシュしたりしています。私の長所は年代を問わずコミュニケーションがとれることです。その長所を生かし、初級園芸福祉士として園芸を通して多くの人と関わる事を増やし、地域貢献になるような活動をしていきたいと思っています。

(広島県／20代／女)



おすすめの冊



植物哲学 自然と人のよりよい付き合い方

川原伸晃 著 講談社選書メチエ 定価：2,090 円（税込）

東京の老舗花屋・園芸店の四代目にして「在野の哲学者」と呼ぶにふさわしい著者が、本書で提示するのは、植物と人間の関係をめぐる新たな思考の枠組みである。“植物を通じて世界を考える”視座は、既存の枠組みに揺さぶりをかけるオルタナティブな示唆を与えてくれる。植物と人間の関係をめぐる思索を、現場の実践と哲学的考察の双方から掘り下げた本書は、いまの時代にこそ手に取る価値のある一冊である。

「日本園芸福祉普及協会設立 25 周年記念シンポジウム」

～25 年を踏まえ園芸福祉が目指すもの～

開催案内

- 日 時 2026 年 11 月 7 日（土）13：00～16：30
- 会 場 三茶しゃれなあとホール 集会室オリオン
東京都世田谷区三軒茶屋 1-41-10 TEL: 03-3411-6636
<https://www.setagaya.co.jp/kuminkaikan/sangenchaya/>
- 参 加 費 会員 3,000 円 非会員 4,000 円
申込者には、受付番号と共に振込先を連絡いたします
10 月 24 日（土）までにお振込みください

※諸般の事情により Web 配信は行いません

- 申込締切 2026 年 10 月 17 日（土）
- 定 員 100 名（申込先着順、定員になり次第申込締切）
- 主 催 特定非営利活動法人日本園芸福祉普及協会
- プログラム 13：00 受付
13：30 開会
【開会挨拶】吉長成恭（日本園芸福祉普及協会理事長）
協会設立 25 年の歩み 事務局
13：45～16:10【報告と記念講演】
特別報告「矯正施設における農業」 法務省矯正局
報告 ①「松戸市での食べられる緑景観づくり」
江口亜維子（千葉大学予防医学センター）
報告 ②「名古屋市における地域共生活動」
田村亨（NPO 法人花と緑と健康のまちづくりフォーラム）
記念講演「今後の活動を考えるためには広角レンズと望遠レンズで」
進士五十八（東京農業大学名誉教授、日本園芸福祉普及協会会長）
コーディネーター 吉長成恭
16：10 閉会

※参加ご希望の方は次頁の参加申込書をご参照ください



注：モスカフェの隣です

【アクセス情報】

- ・電車 東急田園都市線 三軒茶屋駅 徒歩 3 分
東急世田谷線 三軒茶屋駅 徒歩 5 分
※東急田園都市線「三軒茶屋駅」からの最寄り出口は南口 A です
- ・バス 「三軒茶屋」下車 徒歩 5 分
東急バス/小田急バス 三軒茶屋下車
(渋谷駅一弦巻営業所・上町・祖師ヶ谷大蔵駅
・成城学園前駅西口・調布駅南口)等
系統下 61(北沢タウンホール・駒沢陸橋)
東急バス 三軒茶屋駅下車
系統黒 06(目黒駅ー三軒茶屋駅)
- ※駐車場がありませんので電車・バスをご利用ください

参加申込書

以下の内容をご記入の上、郵送か、表内事項を E-mail にてお申込みください

※お申込みの際に頂戴した個人情報は、当シンポジウム以外には使用しません

【E-mail】kyoukai@engeifukusi.com

NPO 法人日本園芸福祉普及協会 事務局 行

申込日：令和 年 月 日

お名前	
住 所	〒
T E L	
E-mail	
どちらかに○をしてください。（ 会 員 非会員 ）	

申込者には、受付番号と共に振込先を連絡いたしますので、10月24日(土)までにお振込みください

新しい園芸福祉士の仲間たち

昨秋、園芸福祉士に認定された方々をご紹介します。今後のますますのご活躍を期待しています。

埼玉県

吉田 義枝様

神奈川県

小原 雅之様

足立 万理子様

東京都

遠藤 智美様

千保木 三紀子様

高木 美子様

石田 由美子様

佐藤 政子様

岐阜県

松田 久美子様

宮嶋 淳様

福岡県

高山 大輔様

愛知県

鈴木 伸子様

牧志 八重子様

千葉県

小笠原 奈津子様



おすすめの一冊

会報で紹介させていただくおすすめの本を募集しています。みなさんのおすすめの一冊をぜひお知らせください。ただし、園芸福祉に関連する、あるいは関連すると思われる本に限らせていただきます。お待ちしています！！

正会員を募集しています

日本園芸福祉普及協会は、NPO法人です。NPO法人は、正会員で成り立つ組織です。協会の正会員の内 70%以上の方は、初級園芸福祉士の資格を取られた後に正会員になられた方です。多くの方に正会員になっていただき、協会運営にお力添えをお願いいたします。

メールマガジン配信中！

全国各地の活動情報、イベント、講習会など園芸福祉に関する情報を配信しています。登録は無料！

登録方法は、件名に「登録希望」、本文に氏名と認定登録番号を明記の上、下記までご送信ください。

送信いただいたメールアドレスを登録させていただきます。

登録完了後、「ご登録完了メール」をお送りいたしますので、「@engeifukusi.com」からのメールが受信できるよう設定をお願いいたします。

送信先 kyoukai@engeifukusi.com

NPO法人日本園芸福祉普及協会
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 4-3-11

DK 共同ビル 9 階

TEL:03-6910-3045 FAX:03-6910-3046

E-mail: kyoukai@engeifukusi.com

URL: <https://www.engeifukusi.com/>